

地域おこし協力隊 新人隊員3名のご紹介！



春日井 友也
さる年生まれの40歳!!

ネットで偶然見つけたカメラマン募集の記事。そこで猿払村の大自然に魅了され、名古屋から夫婦で移住する決意をしました。大好きなカメラを片手に、風景や野生動物、村で暮らす皆さんの笑顔を追い求めて、猿払村中を駆け巡りたいです。



春日井さつき
ふたご座の35歳です!!

愛知県の名古屋市から夫婦で移住してきました。名古屋では保育士をしながら、NPOを立ち上げ、子ども支援を行っていました。猿払村でも大好きな子ども達と関わりながら、素敵な思い出をたくさん作っていきたいです。



飯田 大志
つりが大好き 24歳!!

千葉県出身で趣味は釣りとサイクリングです。猿払村に来るまでは、3年間自転車屋で働いていました。サイクリスト・アングラー（釣り人）それぞれの目線で猿払村の魅力を発信していきたいと思います。宜しくお願いします！

Point

地域おこし協力隊としてどんな活動をするの？



猿払カメラマン

猿払村にしかない大自然の魅力を、写真や動画で配信しています。カメラやドローンを活用し、村民の方も知らない猿払村の魅力発見に挑戦します！



移住のサポート

猿払村への移住や定住を希望される方のサポートをします。村民の方にも喜んでいただけるような魅力ある「移住体験プログラム」の構築に挑戦します！



新しい施設園芸

旧芦野小学校グラウンド跡地に新設されるビニールハウスで、葉物野菜やイチゴの栽培を行います。人の手と最先端技術による新しい施設園芸に挑戦します！



達成目標
600
個

幻の魚“イトウ”を救うために

みなさんこんにちは！地域おこし協力隊の川口です。この度、『猿払イトウの会』の方々と協同でイトウのチャリティグッズ（カンバッジ）を制作し、村内での販売開始することとなりました。売り上げの一部は、『猿払イトウの会』の活動に役立てられます。ご協力のほど宜しくお願い致します！



38mm

2種類各300円（税込）

【猿払イトウの会】

いつまでもイトウが住み続けられる環境を維持していくためには、イトウが減少する要因の解消が不可欠です。現在猿払でイトウの生息を脅かす要因の一つとして産卵遡上の移動障壁が挙げられます。魚道のない小規模ダム（落差工・堰）や、河川と道路交差部に設置される水路等の河川工作物は時としてイトウの遡上の障壁となります。『猿払イトウの会』ではこれらの調査モニタリング、維持管理・改良の活動を実施しています。



【産卵遡上のしやすい環境へ】

小規模ダム（落差工・堰）に改良が加えられ魚道が設置されたものでも、イトウが遡上する上ではまだ不十分な構造となっている場合があります。イトウは他のサケ科魚類に比べ遊泳能力が低く、遡上経路（魚道）の水位変化の影響を大きく受けるため、水位不足の際は特に遡上が困難となります。今回の中止のチャリティグッズ販売による売り上げの一部は、現状イトウにとって障壁となっている産卵遡上経路の改良整備に役立てられます。

【絶滅の危機】

日本最大級の淡水魚イトウをご存じですか？体長が1mを超える大型の個体もあり、寿命は10年以上とても長いことが特徴です。山林や河川環境の悪化、乱獲により数を減らし国内で安定的に生息している河川はわずか、北海道のレッドデータリストでは絶滅危惧種に指定されていますが、法的な保護は進んでおりず幻の存在となりつつあります。